

# 足立健康友の会 かばら支部ニュース

第81号

2015年4月16日  
電話 3605-5594  
http://kabara-tom  
onokai.kenwa.or.jp/  
mail:kabarashibu@  
yahoo.co.jp

## 特大舟盛お刺身といちご狩りで幸せ

天然温泉でゆったり 磯遊びは童心に還り  
貝拾い 楽しいバス旅行でした 3月15日 46名

何年ぶりの「いちご狩り」にひかれて、家族三人で参加しました。お腹いっぱい、いちごを食べられたこと、新鮮な地元の大きな舟盛おさしみをたっぷり食べられたことが、一番の印象です。私が食べた、いちごの数は50個です。

お楽しみコースは温泉と磯あそびの選択でしたが、私だけ磯あそびに参加、嶺岸さんの貝の芸術に興味があったので、貝拾いに夢中になっていました。なかなかよい形の貝はなかったのですが、自然がつくった形の不思議さに見入ってしまいました。海の解放感も格別です。往復のバスと食事の時、近く



これで4人前

のかたと交流できたこともうれしいことでした。娘は久保さんの隣になり、息子さんか脱サラをして対馬で漁師になった話か印象に残ったようです。私は、さり絵の美濃さんにお会いでき、作品を見るのができて、美しさだけでなく似顔やプラカードのデザインの見事さに感心しました。旅の日程や歌集などもていねいに作られ、分担で活躍する実行委員の



綾瀬六丁目 薄井 文字  
日に役立ち、安心できる毎日だと思います。

## 温泉コースに参加した方の声

大型バスで送迎していただいた温泉は、なめらかな肌触りの良質の天然温泉で湯加減も丁度よく体に浸みるようでした。体が芯から温まることができました。皆さんに感謝の気持ちです。

改めて考えてみますと、かばら診療所で病気や検診、歯の治療、デイサービスには一〇一歳の父が元気に通院して大変お世話になっていきます。「かばら健康友の会」では、サークルのひとつ「コーラスこもれび」に夫婦で楽しく参加し、最近では、「健康チャレンジャー」はまっています。おかげで、体と心の健康に役立ち、安心できる毎日だと思います。

## 東綾瀬公園 かばら恒例の花見会

去る4月4日(土)恒例のかばら友の会「お花見会」が東綾瀬公園で開かれました。



この日の会費は300円で、超格安。役員会で聞いたら今までのお花見会の積立金から3千円に届かない出費で済んだとか。「一品持ち寄り」のすこさですね。今回、私の所では仕事が立て込んでいて、料理を準備することができませんでしたが、次回は楽しみにしていただきたいと思います。担当 中尾千恵子 聞き書き 嶺岸

参加者の一品持ち寄りでお花見会がゴザならぬビニールシートの上で並べられ、お花見の宴会の始まりです。回りはみな気さくな顔見知りの人ばかりで、遠慮しないで参加できたのが魅力でした。役員の方の手作り料理は、

小川さんが深夜2時まで手をかけた「煮込み」同じく渡名喜さんが作った「ユズ入りイナリ」清水さんの「大根と鶏肉の煮物」亀井さんの「ノビルの味噌合え」美濃さんの「ポテトサラダ」それにウインナーなど食べ切れないほど並びました。花見には「お酒」が付きますが、こちらもビール、



# 「原発事故から4年・これからは」 放射能汚染から子どもの健康を守る会

この足立区で、特に東部地域で汚染度が高く、爆発当時3月21日の柏ルートを通った放射能は雨によって降下し、金町浄水場が汚染されて安全な水を求めてパニクが起きました。

その降下した放射能が4年たち、測定を続けている私達も値が少し下がって来ている事は実感しています。2年前私達の会が発足してから主に放射能測定をして地域の実態を明らかにして「子どもの健康を守る除染の実施を・食べ物からの内部被曝を避けるため学校や保育園などの給食の放射能測定の実施を・希望する子どもの健康診断をさせる



など」を区議会に陳情を行い、蒲原診療所とかばら友の会にも賛同をいただき、沢山の方に署名のご協力もいただいた活動を行って来ました。

審議をする災害・オウム対策調査特別委員会では地元の共産党のはたの区議会議員と



額賀議員が他区の進んだ取り組みや全国の実態を調査

し、科学的な知見を研究して他党の議員や区の職員へ訴えていただき、議論を積み重ね最終委員会では「継続審議」で今後につなげる事が出来ました。はたのさんの報告にも「この人なら任せられる」と感想が聞かれました。講演は環境カウンセラーの権上かおるさんが、大変分かりやすい資料とお話で、福島事故とチェルノブイリの違い、暮らしを守る具体的な手立てをお話いただきました。

原発事故から4年がたち、事故被害者の今の姿や、全国に放射能を避けて避難している人達は、テレビやマスコミ

で取り上げられる機会も少なく、世の中から消されようとしています。

しかし、国は鹿児島島の川内原発の再稼働を認め、福井の高浜・美浜原発は再稼働の申請をしています。もの忘れが日々増えていても、私達は原発事故を忘れず・福島の人たちに寄り添い・全国の同じ思いの人たちと小さな力を集めていきますよと3回目となった総会で確認しました。(放射能汚染から子どもの健康を守る会事務局長 坂井 よう子)

## 「青ひげ先生の聴診器」 を観てきました

先日、青年劇場の「青ひげ先生の聴診器」を観てきました。というの

の「民医連」の病院「花里病院」でのお話です。「市民まつり」への参加を目指して病院職員による演劇「水戸黄門」の稽古風景で幕があきます。

医師・看護師不足のために途中緊急呼び出しが次々にきまして稽古は中止。どこかで聞いたことがありますか？

うなんです。あの嶺岸さんの著書「白衣のスターたち」が下敷きになっています。友の会会員も出てきて本当に身近な話の連続。あくまでも患者さんの希望に添いたいとがんばった病院職員と協力する友の会役員さんたち。楽しく観ることができました。大きく違うのは素人演劇の「水戸黄門」なのに上手すぎだったこと。みさと健和病院の病院祭で観た「水戸黄門」とは雲泥の差でした(笑い)。今回は東日本大震災の工ピソートも盛り込んでありました。民医連の病院の良い所が実感できる芝居「青ひげ先生の聴診器」をお勧めです。報告 役員 清水扶佐子

## 滝川征彦さんを偲ぶ

柳原病院で入院加療中の折容態確認とお見舞いに夫婦で行きました。

その時、彼も自分の生命の限度を見ぬいていたようで、俺が来てくれて安堵したのか・・・「利さん先に行きます」と言っていたよと家内から言われた

時、滝川本人がこれ以上生きられない事を自覚していたように思われました。

後日訃報の知らせを受けたとき、やっぱりな・・・だめだったか、それは本人が一番わかってた事で見舞いに行き確認の際に家内から聞いた言葉が思われました。

結婚の事、タクシ関係の事、滝川さんが私の事を死に際まで思ってくれた事がシノバ



てなりませんか。俺も80歳を回りましたが長

いと思うけれど同じ処に行くのだからその時また逢いましょう。場所を取っておいてください。俺には、党の事があるので「民主連合政府」が近く出来るまでは頑張るつもりです。この年で共産党が大きく躍進したこの時期に益々躍進を続けて待望の「民主連合政府」を確立させるまで生きようと思っています。

2015年2月23日  
寄稿 佐藤 利昭 80歳

歴史散策はやすみます。